

岩海のなりたち

どうして！？なぜこんなに岩が！？

★久井岩海は約 8600 万年前にマグマがかたまってできた岩の集合体★
～長い年月をかけて地表にでてきたのです！～

地球の誕生

宇宙で寿命を終えた恒星が爆発し生じたガスやチリがぎゅっとかたまり火の玉になりました。その火の玉は小さな惑星やそのかけらが衝突して大きくなり、46 億年前に原始地球ができました。

地球の温度が下がると水蒸気や二酸化炭素からなる雲ができ、その雲から降るすさまじい雨が何千年か降り続き 40 億年前に現在の地球ができたといわれています。

それから 39 億年後の久井町では、宇根山の地下深くで久井岩海を作る^{かこう}花崗せんりよく岩が誕生しました。

久井岩海ができるまで

- ① 中生代白亜紀後期(約 1 億年前)、恐竜が栄えていた時代、日本はまだアジア大陸の東縁にあり、大陸の一部でした。その頃は激しい火山活動が起こっていました。



- ② 久井岩海のある宇根山付近で火山活動が起こり、約 8600 万年前に地下深くでマグマがかたまり、花崗せんりよく岩という岩石ができました。その時、岩にブロック状の割目(方状節理^{ほうじょうせつり})が生まれました。



- ③ 日本列島は新第三紀(約 2303 万年前)になると、大陸から離れていきました。その間久井の大地は数千メートルの隆起と侵食を繰り返し地下深くの花崗せんりよく岩も地表近くに達しました。すると地下水によってさらにポロポロに風化(深層風化)していきました。



- ④ おそらく新生代第四紀(約 258 万年～)頃、地表に岩石が顔をだしたと考えられます。山に川ができ雨水などによってポロポロになった岩石のマサ土は流され、岩の内部のかたい塊(コアストーン^{かたまり})が残され、谷に岩海が出来ました。

